

活動団体： 特定非営利活動法人 環境修復保全機構

～アジアにおける開発と環境との調和をめざして～

団体の活動



特定非営利活動法人環境修復保全機構(ERECON)は、日本を含むアジア諸国における農業的および都市的開発と自然環境との調和を目指した環境修復保全に取り組み、環境教育啓蒙の活動を通して、自然資源の持続的利用に寄与することを目的に 2000 年に設立されました。東京都町田市に本部を構え、東南アジア事務局(タイ国)、カンボジア支局、フィリピン支局を現地活動拠点とし、国際環境協力に取り組んでいます。

<https://www.erecon.jp/>



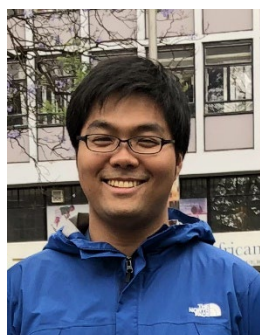
環境修復保全機構主催の留学生を対象とした PCM 研修の実施補助



持続可能な農業技術に関する実習（堆肥づくり）
（留学生（団体が受け入れているドイツ人インターン）と協働して実施）

インターンプロフィール

金子 貴徳



大学院の博士課程に所属し、土壌動物(ミミズ)の働きを研究するとともに有機農業等について勉強しています。そのため学んだ知識を農業分野における国際協力で社会に還元する希望があります。趣味は旅行と家庭菜園です。

所属団体で活動するきっかけ

農業分野における国際協力や留学生支援に関心がありました。そのため、大学と連携して留学生の研修プログラムを実施していた環境修復保全機構の活動に 2017 年度よりボランティアとして参加したことがきっかけです。

どのような業務(活動)をおこなっているか

次の業務に従事しています。(1)国際協力に関する知識の習得、ODA を始めとした国際協力の重要性に関する講義受講と演習、持続可能な農業技術(堆肥づくり・生物起源防虫液づくり等)に関する講義受講と実習等、(2)NGO 事務局での国内業務や国外事業等の視察・補助、各種団体管理業務の講義受講と補助、国際協力プロジェクトにおける国内外業務の補助等、(3)ボランティアと協働しての活動、ボランティアと協働しての国際協力イベント等の団体出展補助等です。

スキルアップのためにしていること

インターン活動への従事を通して、業務遂行において英語能力が重要であることを改めて認識しました。そのため、英語力の向上に取り組んでいます。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、今後フィリピン国へ渡航し、国際協力プロジェクトの視察・補助、ESD に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)推進活動の補助等に従事する検討を進めています。

今後のビジョンは？

途上国の貧困層には農家が多いため、農村における貧困問題の解決に関心を持っています。本プログラム終了後は、博士学位の取得とともに、環境修復保全機構等の国際協力 NGO を含む国際協力機関への就職を目指しています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

私は『チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れる。』という言葉が好きです。国際協力分野で活動を目指す人には、どのような小さなことでも良いので、まずは一歩を踏み出してもらいたいです。

団体アピール

環境修復保全機構は専門性が高い活動に取り組んでいるイメージがありますが、気軽に参加できる活動もたくさんあります。農業・環境・国際協力に興味のある方は、環境修復保全機構までお気軽にご連絡ください。